

『時事直言』 No.1507 2021年10月29日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

世紀の大恐慌と戦争

ABCD(アメリカ、イギリス、中国、オランダ)対日包囲網で日本はエネルギー、食糧、原材料を断たれ、正に「窮鼠猫を噛む」に追い込まれ、アメリカが事前に仕組んでいた真珠湾攻撃に突入した。

トランプに続きバイデン政権はオーカス AUKUS(オーストラリア、イギリス、アメリカ)とクアッド Quadrilateral Security(アメリカ、日本、オーストラリア、インド)の対中軍事包囲網を着々と進めている。

オバマ政権までは「一つの中国」の原則を守りアメリカの台湾への兵器供給は防衛的兵器に限られ、決して攻撃的兵器を輸出することはなかった。

またアメリカを代表する政府高官が正式に国交のない台湾を訪問することはなかった。

ところが今や台湾に現職閣僚はおろか米軍までも派遣され、高性能 F-16 戦闘機が輸出されている。

アメリカはウイグルや香港での中国の民主主義弾圧や非人道的行動を非難し同盟国に対中制裁を呼びかけている。

中国の対台湾武力行使のレッドラインは台湾の独立だからアメリカは台湾の国連加盟を支援すると宣言し日本や欧州の同盟国に支持を要請している。

アメリカは、朝鮮半島を併合し、満州から中国へ覇権拡大をしていた日本の息の根を止めたように、今中国に対して同じ歴史を繰り返そうとしている。

しかしかつての日本と今日の中国は違う。

金正恩(北朝鮮主席)が拉致問題が日本の最優先課題になっていることを喜んでいるように(拉致家族と言う人質の身代金の額が高くなるから)、これでもか、これでもかと執拗に攻めて来るアメリカを、習近平は、本当は喜んでいるのではないか。

どうしても避けられない世紀の大恐慌は誰が何の為に起こすのか、いや起きるのか。

それが米中冷戦にどう関わっているのか。

11月8日から始まる「増田俊男のインターネット国際政経塾」は、ユダヤ資本と言えども従わざるを得ない「資本の意志」を代弁して解説しようと思っている。

講義が始まると連日朝一番で株式市場の傾向と対策を丁寧にお話します。

今までの受講者は勿論、新たに「増田一家」になって大富豪を目指す方はこぞってご参加下さい。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

投資にビジネスに一番役に立つ「ここ一番」。

「明日では遅過ぎるナウな情報」をその場で必ずお送りします。

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。

詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel : 03-3956-8888、

HP : www.chokugen.com まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。